

No.18

平成25年8月1日

自治医科大学附属病院だより

Jichi Medical University Hospital



正面玄関

自治医科大学附属病院の理念・基本方針

理念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域に開かれた病院
4. 地域医療に貢献する医療人の育成

基本方針

1. 患者の皆様の立場に立った人間味豊かな医療を提供し情報公開を積極的に推進します。
2. 患者の皆様へ安全でかつ根拠に基づく質の高いチーム医療を提供します。
3. 地域の医療機関との連携を深め、高度で先進的な医療を提供します。
4. 地域医療に気概と情熱を持ち、全人的な医療を実践する医療人を育成します。

患者の皆様の権利と義務について

【患者の皆様の権利】

- 1 個人として尊重された上で適切な医療を受ける権利があります。
- 2 安全に配慮した高度で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 3 病状や治療内容について十分説明を受ける権利があります。
- 4 十分な説明を受けた上で、治療方法等を自らの意志で選択決定する権利があります。また、治療方法等について、他の医療機関(医師)にセカンドオピニオンを求める権利があります。
- 5 申し出により診療録の開示を受ける権利があります。
- 6 診療に関する個人情報保護尊重される権利があります。

【患者の皆様の義務(ご協力いただきたいこと)】

- 1 ご自身と他の患者の皆様の療養環境に支障を来さないよう、法令と当病院の規則を守り、当病院スタッフの指示に従って行動してください。
- 2 適切な医療を行うために、ご自身の健康状況について出来るだけ正確にお話してください。
- 3 本院は特定機能病院として、より多くの急性期で重症な患者様の治療に携わりたいと考えております。このため、本院での治療や検査を終了し、病状が安定した患者様は、本院と緊密な連携を保っているお近くの医療機関へご紹介することとしております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。
- 4 特定機能病院であり教育機関でもある当病院の役割をご理解の上、医学生・看護学生等の見学・実習・研修にご協力ください。
- 5 当病院の敷地は、建物内、外周ともに全て禁煙です。喫煙は絶対にしないでください。
- 6 本院は大学附属病院として、臓器移植法により脳死臓器提供施設に指定されており、同時に脳死臓器移植実施施設(肝臓・腎臓・小腸)に認定されているため、緊急の脳死臓器提供や臓器移植手術のために、患者様の予定されていた手術が急遽遅延したり、中止になったりする可能性があります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

▶ 病気を知ろう! 第18回「関節リウマチについて」	2
▶ 専門・認定看護師を紹介します	5
▶ Information from the Hospital 「外来リニューアルのご案内」	6
▶ トピックス「とちぎ臨床試験推進部と名前を変えて」	8
▶ お知らせ掲示板	9



第18回

関節リウマチについて



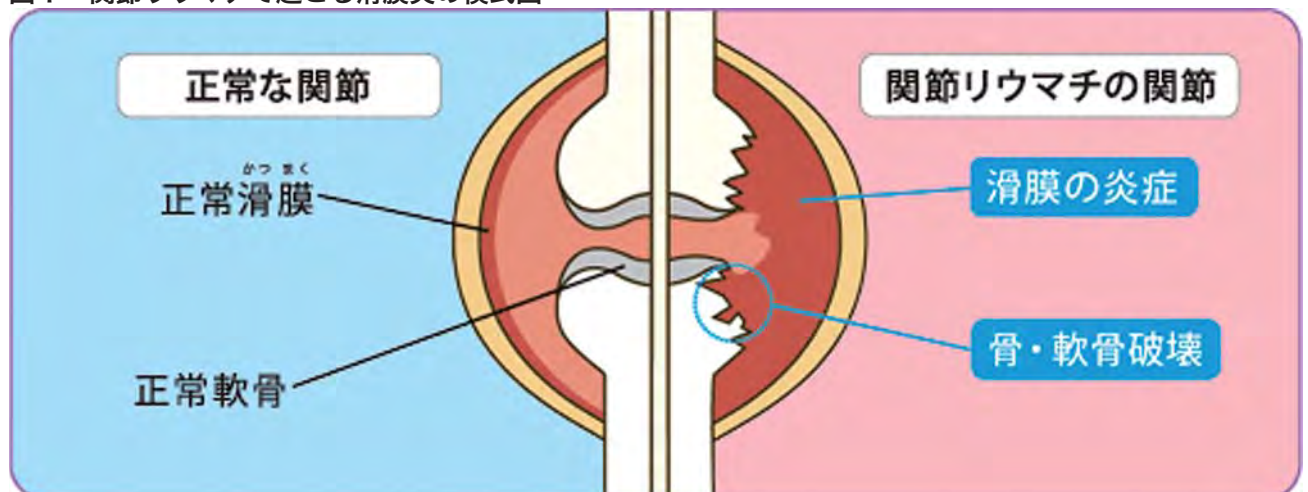
アレルギーリウマチ科
佐藤 健夫

関節リウマチとはどのような病気ですか

関節リウマチは手や指の関節をはじめとして全身の関節に炎症をきたす進行性の病気です。関節には滑膜という関節を覆う膜があり、関節を保護し動きをスムーズにする働きがあります。関節リウマチの方では滑膜に白血球が集まり炎症を起こし（滑膜炎 図1）、痛みを起こすプロスタグランジン、炎症を起こすサイトカインなどが産生されます。炎症が長引くとやがて関節を構成する骨や軟骨が徐々に破壊され、ものを持つ、歩くなどの日常生活動作に支障をきたします。

関節リウマチの有病率は人口の0.5-1%程度で、日本には約60-70万人程度の患者様がいらっしゃると推計されています。女性の割合が多く、40歳頃の働き盛りの頃に発症する方が多いですが、小児から高齢の方まであらゆる年齢層に発症します。病気の原因は不明で、リウマチ因子という自己抗体が陽性になる例が多いことから免疫の異常による病気と考えられています。

図1 関節リウマチで起こる滑膜炎の模式図



(中外製薬株式会社ホームページ「おしえてリウマチ」より)

関節リウマチではどのような症状がみられますか

関節リウマチでは手首や指の関節に最初に症状が出る事が多く、関節の腫れや痛みがみられます。指では中央部の関節（PIP関節、いわゆる第二関節）や指の付け根の関節（MCP関節）に腫れや痛みがみられます。それ以外にも、足の趾・肘・肩・膝・足などの関節にも炎症が起こります。また朝に手指が握りづらくなる朝のこわばりもみられます。

関節リウマチは全身の病気で、関節以外にも症状が出る場合があります（関節外症状）。関節外症状の例としては間質性肺炎（肺の炎症により酸素のガス交換能が低下します）、血管炎（血管に炎症を起こし、血流が途絶えるとその先の組織がダメージを受けます）、リウマチ結節（肘の外側や肺などにできる場合があります）などがあります。

関節リウマチが疑われた場合にはどのような検査を行いますか

関節リウマチが疑われた場合には、炎症や自己抗体の有無を調べるために血液検査、滑膜炎や骨の変化の有無を調べるため画像検査（レントゲン、MRI検査、超音波検査）を行います。血液検査では炎症を評価するためにC反応蛋白（CRP）・赤血球沈降速度（赤沈）を測定し、自己免疫の異常の有無をみるためにリウマチ因子を測定します。リウマチ因子

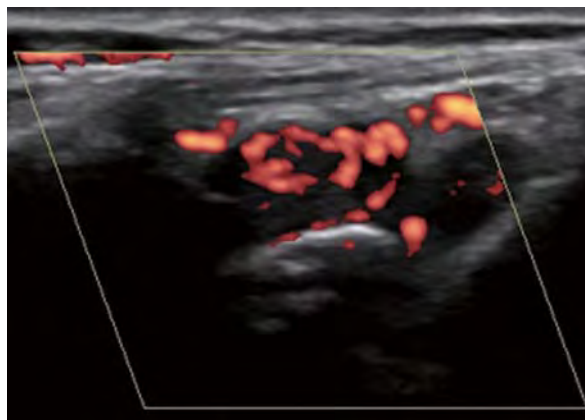
が陰性でも抗環状シトルリン化ペプチド（CCP）抗体が陽性となる場合があります早期診断に有用です。レントゲンでは骨の破壊（骨びらん 図2a）や関節の隙間が狭くなっていないかを調べますが、早期ではレントゲンには変化が出ていない場合も多く、そのような場合はMRI検査、超音波検査により滑膜炎（図2b）をより早期に検出することができます。

図2 レントゲン (a) で矢印の部分に骨びらん（骨の破壊像）、超音波検査（パワードップラー法）(b) により滑膜炎（赤い部分は炎症により血流が増加したところです）を認めます。

図2a



図2b



診断と治療はどのように行いますか

関節リウマチは上に述べた症状や検査所見を総合して診断します。発症より時間が経過して特徴的な所見が揃っている場合には診断は難しくありません。しかし発症数ヶ月の早期では診断が難しいことがしばしばあります。そのような例でも最近では抗CCP抗体や関節超音波検査などの進歩により、より早期

に診断ができるようになりました。

関節リウマチと診断された場合は早期から関節破壊が進むため、できるだけ早くからの薬物治療が勧められます。関節リウマチの活動性を抑える治療薬には大きく分けて以前より使用されてきた内服の抗リウマチ薬（疾患修飾性抗リウマチ薬）とこの10年の間

に使用可能となった生物学的製剤があります(表1)。抗リウマチ薬ではメトトレキサートが代表的ですが、その他にも種々の薬剤があります。症状が軽い場合には抗リウマチ薬の治療で十分のこともあります。病気の勢いが強く十分に症状が良くならない場合、あるいは良くなったように見えても関節の破壊が進行してしまう場合があります。その場合は、注射製剤である生物学的製剤を用います。生物学的製剤は関節の局所で炎症を起こすサイトカインというタンパク質の働きを抑えたり、白血球の細胞の表面にある分子の働きを利用し免疫細胞の活性化を抑えることにより効果を発揮します。生物学的製剤には関節破壊の進行を抑える効果があることが証明されており、これまでの治療の効果が不十分な場合だけではなく、関節リウマチの勢いが強く進行が速いと予想される場合は最初から使用することもできます。生物学的製剤の登場により関節リウマチの進行を抑えることができるようになりましたが、一方で重い副作用が出現したり、高額な医療費が負担となる場合もありますので

受け持ちの医師とよく相談の上で判断する必要があります。関節の痛みが強い場合にはステロイド剤を使用することもあります。長期投与すると骨粗鬆症、糖尿病、感染の危険の増大などの問題があり使用する量はできるだけ少量、短期にすることが望ましい薬剤です。痛みに対し非ステロイド系抗炎症薬を痛み止めとして用いることもありますが、胃腸障害や腎障害などの副作用もあり、上記の治療を優先して行い痛みが治まった後はできれば減量・中止します。

関節リウマチの進行を抑えるには薬物療法が基本ですが、発症から既に時間が経っていたり、薬の副作用などで十分な治療を行うことが難しく関節が変形し不自由となった場合には手術療法を行います。例えば、ものに手を伸ばす、ものをつまむなどの上肢の動作に支障を生じたり、下肢の障害により屋外歩行が困難になった場合、関節の痛みが強い場合、首の骨(頸椎)の障害により神経症状が出ている場合などに手術療法が検討されます。

表1 代表的な抗リウマチ薬、生物学的製剤(商品名ではなく一般名で記載しています)

抗リウマチ薬(疾患修飾性抗リウマチ薬)

メトトレキサート、サラゾスルファピリジン、ブシラミン、レフルノミド、タクロリムス、アクタリット、イグラモチドなど

生物学的製剤

T N F 阻 害 薬 : インフリキシマブ、エタネルセプト、アダリムマブ、ゴリムマブ、セルトリスマブ

IL-6受容体阻害薬 : トシリズマブ

C T L A - 4 製 剤 : アバタセプト

治療の目標はどのようなものですか

以前の関節リウマチの治療目標は患者様の痛みを抑えることで、従来の抗リウマチ薬では必ずしも関節の破壊は抑えきれませんでした。しかし生物学的製剤が登場し、関節破壊の進行を抑える効果があることが報告されました。治療の目標はまず臨床的寛解といって、患者様の症状がなくなることを目標にします。具体的な評価方法としては関節の腫れや痛み、検査結果、患者様や医師の評価などを総合して判定するCDAI,SDAI,DAS28などの指標があり、1~3ヶ月ごとに評価を行い治療がうまく行われているか見直します。これらの指標を一定数値以下に保つことにより関

節破壊の進行を抑えること(構造的寛解)が期待できます。骨びらんは治らないのでは決してなく、その人にあった治療を行うことで改善することも期待できます(図3)。臨床的寛解、構造的寛解が達成できれば体の機能も保つことができ日常生活や仕事をする上での支障もなくなります(機能的寛解)。

このように寛解という目標を達成し一定期間続いた場合は、薬の減量や中止を試みる場合もあります。ただし症状が再発する場合がありますので注意深く経過を見て、再発した場合は薬を再投与する必要があります。

図3 治療前後の骨びらんの変化。4年間の治療により、当初認めた矢印の骨びらん(a)が縮小している(b)ことがわかります。

図3a



図3b



普段の生活で気をつけることはありますか

関節リウマチと診断され薬物治療が開始された場合には定期的な通院治療が必要です。治療はきちんと続けないと効果は期待できませんし、自己判断で薬を止めてしまうと症状が急に悪化することがありますので主治医の指示に従い治療を続ける必要があります。治療で症状がよくなっても体に無理な負担がかかると症状が悪化することがありますので、体に過剰な負担がかからないように、十分な休息をとるように心掛けましょう。また関節リウマチの治療薬では他の薬剤と比べやや重い副作用がでることがあります。もし治療経過中に高熱が続く場合やこれまでにない体調不良を自覚さ

れた場合は、感染症を合併したり何らかの副作用(肺炎、肝障害、血液障害、腎障害など)が出ていることもありますので早めに受診することが必要です。風邪のシーズンには感染予防が必要で、薬で治療していてもワクチン(インフルエンザ、肺炎球菌)の効果は期待できますのでワクチン接種も積極的に行いましょう。治療により症状が落ち着いた場合にはリウマチ体操や散歩などで関節の動きや筋力を維持することも大切です。タバコは関節リウマチの発症や薬が効きにくくなることにも関係していると言われており、禁煙が勧められます。

専門・認定看護師を紹介します

〈連載〉
第5回

小児救急看護認定看護師って?



救命救急センター 辻 美幸

少子化や核家族化が進む現在、子どもとその家族を取り巻く環境は大きく変化をしています。私は平成18年4月に救命救急センターに配属され、夜間に発熱などで救急外来を受診する子どもと家族の現状や育児不安を抱える家族など、小児救急医療の問題を肌身に感じていました。これら小児救急医療の問題に立ち向かうべく、2012年6月からは小児救急看護認定看護師として勤務をしています。

救急外来を受診する子どもは、5歳以下の子どもが多く、この年頃の子どもの「辛さ」や「苦しさ」を「泣く」「ぐずる」といった方法で表現し、言葉ではうまく伝えられません。そのような子どもが抱える苦痛の「本質」を読み取り適切な環境を提供することや、

検査や処置に恐怖や不安を感じる子どもに対する支援など、子どもに必要な看護の提供を行っています。また家庭における病児看護の指導や、育児不安を抱える家族に対して育児支援を行い、家庭での育児能力の向上にも努めています。そして、社会問題ともなっている小児虐待において虐待の兆候を見つけ、その子どもや家族と関わり必要な支援に結びつける事も役割の一つです。以上のような役割が、小児救急看護認定看護師にはあります。

救急外来において、患者さんとの関わりを持つ時間は短く限られています。限られた時間の中でも「子どもと家族が元気になるために」、子どもや家族のサポートを行っています。

外来リニューアルのご案内

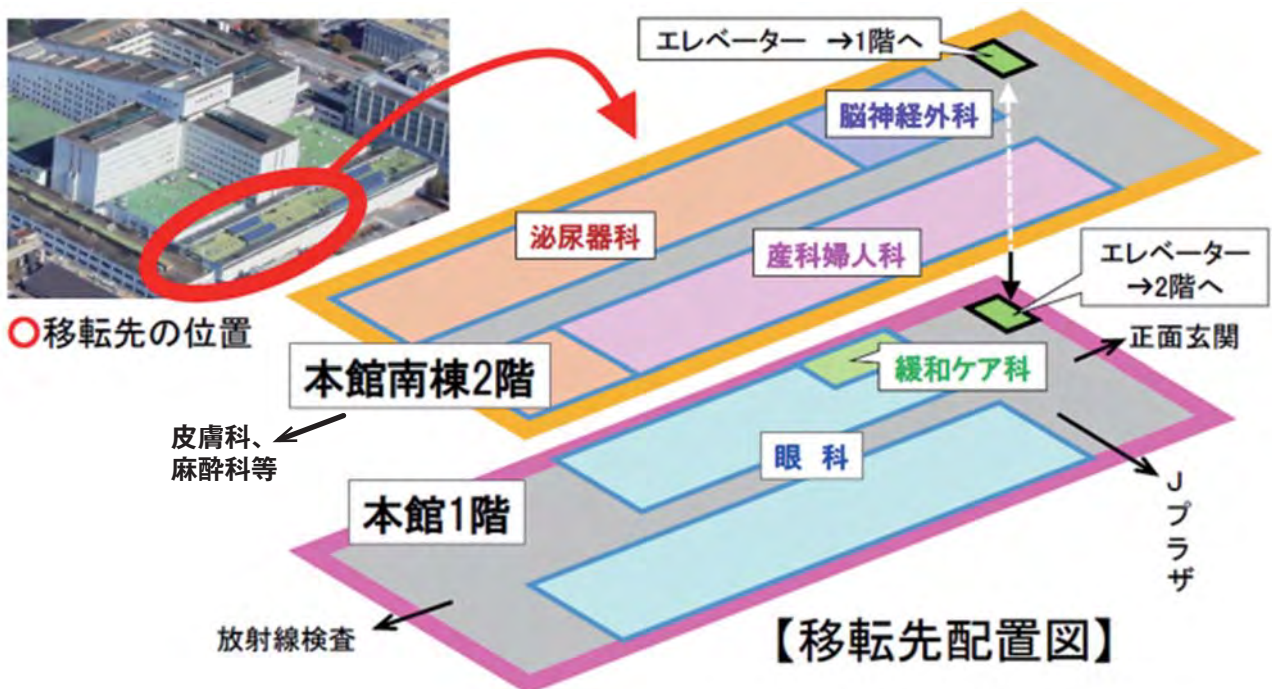
経営管理課リニューアル推進室

最近の外来リニューアルの移転及び工事をご案内いたします。

外来移転については、7月1日(月)に、本館南棟1階には眼科、緩和ケア科(注：緩和ケア科受付は従来通り内科受付です)が、南棟2階には産科婦人科・泌尿器科・脳神経外科が移転先にて運用を開始しました(下図参照)。

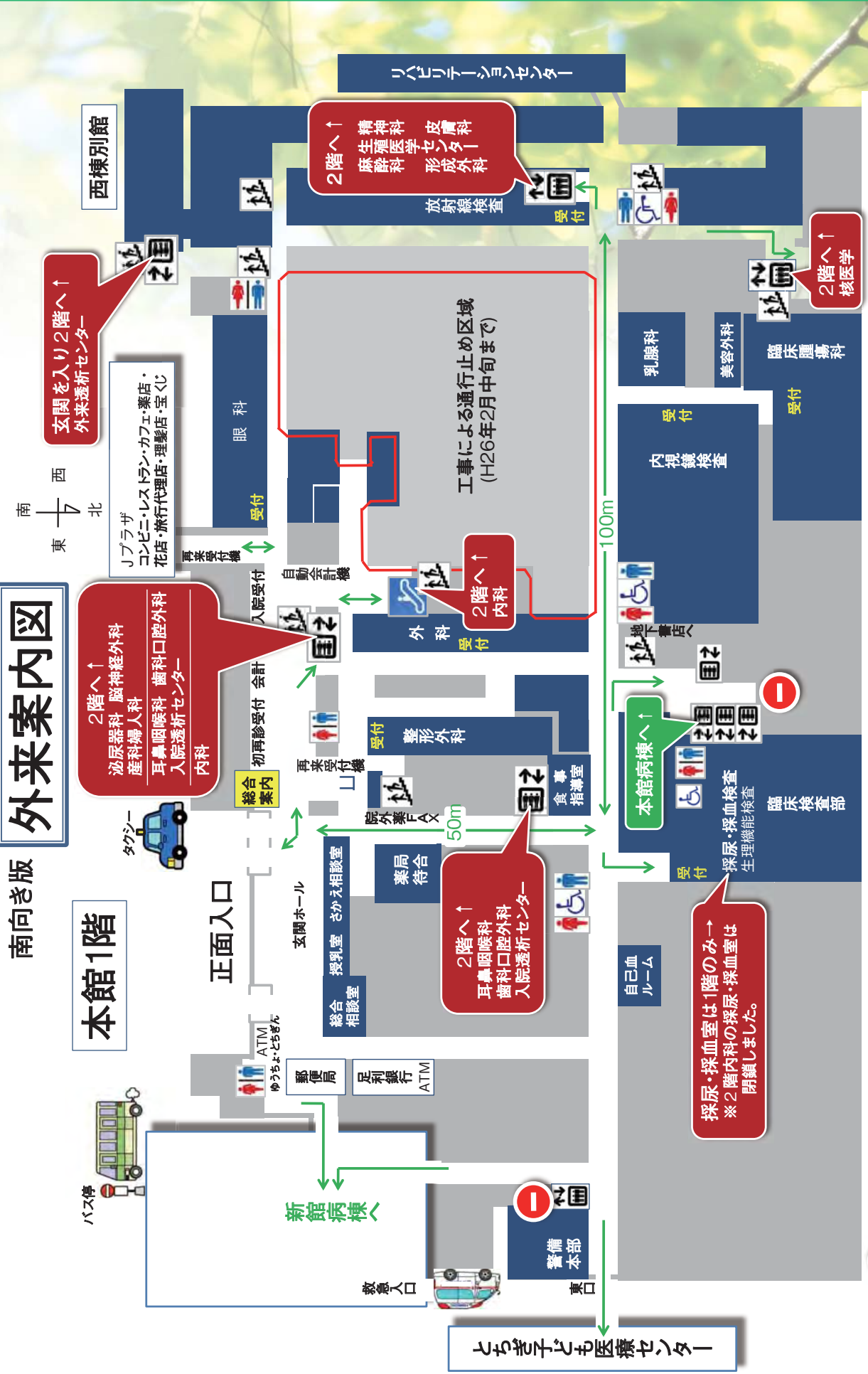
また、次の主な工事区域は、今回移転した本館1階産科婦人科・泌尿器科・脳神経外科・眼科の跡地となります。

今後も、工事に伴う通行規制やエレベーター更新等ご不便をおかけしますが、ご理解のうえご協力をお願いいたします。



南向き版

外来案内図



○ = 関係者以外立入禁止

平成25年7月1日現在

トピックス

とちぎ臨床試験推進部
と名前を変えて

とちぎ臨床試験推進部

吉尾 卓

皆様方は以前、ニュースなどでタイムラグならぬドラッグラグという言葉聞いたことが有りますでしょうか。1990年代から我が国では新薬の承認販売が欧米のみならず、東アジアの近隣諸国からも非常に遅れていました。10年以上の遅れも稀ではありません。他の国では新薬による治療を受けられるのに、我々日本人は新薬の治療を受けられないという不公平感を味わわされていました。

6年前に危機感を抱いた厚労省は「新たな治験活性化5カ年計画」を出しました。それに基づき当院は全国30の治験拠点医療機関の1つに選ばれました。この計画の目的は治験を積極的かつ迅速に行ない、新薬が少しでも早く承認されるようにしていこうというものでした。

それを機に当院では、5年前に臨床試験センターが発足しました。各診療科で行なう治験が円滑かつ迅速に進むように、そして患者さんが気持ち良く治験を受けられるように治験コーディネーター

(Clinical Research Coordinator; CRC) による支援体制を充実させて来ました。発足当時CRCの人数は10名でしたが、現在は17名まで増えました。3年前の治験拠点医療機関の中間見直しでも、厚労省から治験の実績が評価され、20の治験拠点医療機関の1つに残りました。

しかし、臨床研究の支援体制が未だ脆弱であるとの指摘を厚労省から受けました。本学も創薬につながるような基礎から臨床に至るまでの研究の活性化が必要であり、そのための支援体制を強固にして行く必要があるという提言が出されました。その提言に基づき本年4月に自治医科大学臨床研究支援センターが発足し、旧来の臨床試験センターはとちぎ臨床試験推進部と名前を変え、臨床研究支援センターの一部門となりました。引き続き、附属病院における治験・臨床研究を全面的に支援出来る体制作りに努めて参りたいと思います。



治験参加の患者さんが医師の診察を受けています。そばにCRCが控えて、患者さんのサポートを行なっています。



治験審査委員会審議風景、とちぎ臨床試験推進部は治験審査委員会事務局も兼ね、治験の審査に係わる事務作業も行なっています。



とちぎ臨床試験推進部1階オフィスのCRCデスクワーク風景



地下1階の冷蔵庫、ここに治験薬を保存し、厳しく治験薬の品質管理を行い、治験薬の品質を保っています。

お知らせ掲示板

自治医科大学附属病院の各部署のご案内

とちまるネットへの参加

企画経営部 小西 宏明

このたび自治医科大学附属病院は平成25年9月から栃木県地域医療連携ネットワーク、とちまるネットに参加することになりました。とちまるネットは栃木県の地域医療連携、医介連携、診診連携、病病連携を構築し、各医療機関に保管されている診療情報、及び、地域連携クリティカルパス等を共有することにより、医療の質・安全性の向上を図るとともに、県民がより良い医療・介護サービスを楽しむ豊かな保健医療福祉社会づくりを目指すものです(栃木県医師会ホームページより)。本年5月1日から順次栃木県内の情報開示病院から始まりました。(9月時点で運用開始する病院は、足利赤十字病院、済生会宇都宮病院、佐野市民病院)

医療機関が連携するには患者情報の共有が不可欠です。現在それらの情報は紹介状という紙媒体、DVD、フィルム、写真などによってやり取りされています。とちまるネットではそのような情報をセキュリティが敷かれたインターネット回線上で共有するものです。もちろん同意のあった患者様の情報だけしか共有の対象になりません。

では患者様にとってはどんなメリットがあるのでしょうか？

例えば診療所の先生が自治医大に患者様を紹介される場合、このネットワークに登録されると、紹介後の自治医大での治療の経過の一部(検査、画像データ、処方内容など)をリアルタイムに知ることができます。また病院で行われた画像検査を診療所でもう一度患者様と共に閲覧することで、病気の理解が深められることもあります。医療機関でスムーズな情報連携が採れることにより患者様にとっては二人の主治医(病院と診療所)が連携していることの「安心」を感じて頂けると思います。

今後診療所、他病院の先生からとちまるネットのお話しが出るかも知れません。その際は良く説明を聞いて頂きたいと思っております。とちまるネットをよろしくお願い致します。

自治医科大学附属病院



二人の主治医

診療所



患者様のご紹介

とちまるネットによる情報の閲覧、共有



(とちまるくん承認第250282号)

自治医科大学とちぎ子ども医療センター 園芸ボランティア団体「花咲jii」が、 「みどりの愛護」功労者国土大臣賞を受賞しました

経営管理課

この度、子ども医療センター園芸ボランティアグループ「花咲jii」が、第24回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣賞を受賞しました。

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣賞は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰されるものです。

今年度は全国から78団体が選ばれ、5月18日(土)、皇太子殿下ご臨席のもと、熊野灘臨海公園「みどりの愛護」のつどいにおいて表彰式が行われました。この表彰式に、花咲jii会長、副会長を初め、他に事務局から2名が出席しました。

この度の栄誉は、子ども医療センター並びに「花咲jii」にとり、非常に意義深く名誉なことであり、花咲jiiボランティアの皆様の貢献と、この活動にご理解・ご協力のいただいております多くの方々の賜物と感謝申し上げます。

なお、この感謝状は子ども医療センター外来受付の壁に掲示しておりますのでご覧ください。



感謝状



高梨副会長(左)藤岡会長(中央)富副事務局長(右)

平成25年7月1日から面会時間に変更となりました

新

旧

平成25年7月1日から	平成25年6月30日まで
平日 13:00 ~ 20:00	平日 15:00 ~ 19:00
休日 13:00 ~ 20:00	休日 13:00 ~ 19:00

※産科病棟及び子ども医療センターについては従来どおりです。
※ただし、上記時間内であっても、病棟の都合や診療などのため、面会を制限する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご要望への取り組み

患者サービス検討委員会では、患者さまからいただいた投書から、サービス向上のために必要なものを検討し、整備を行っております。今回は平成25年度に対応した外来トイレの杖掛けをご紹介します。

高齢化にともない、杖を使って来院する患者さまも多くなっております。

「トイレに入るとき杖を置く場所に困る」との投書を受け、外来トイレ及び手洗いに、杖掛けを設置いたしました。ぜひご利用ください。



今後も皆さまのご意見を真摯に受け止め、努力していきますので、お困りのことがございましたら、ご意見をお寄せください。

病院敷地内全面禁煙のお知らせ

健康増進法では、学校や病院など多数の者が利用する施設において、受動喫煙(他の人のたばこの煙を吸うこと)の防止を定めております。

当院では、法の主旨に基づき、平成20年9月1日から病院敷地内を**全面禁煙**としております。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。



禁煙したい方へ

**当院には禁煙外来がございます。
電話予約のうえ、受診ください。**

- 診察日 毎週月曜日 午後3時～4時
(完全予約制)
- 連絡先 自治医科大学附属病院 呼吸器内科
0285-58-7467(直通)
午後2時～午後4時(土日祝祭日除く)

ボランティア募集

自治医科大学附属病院

- 活動日 月～金（祝日除く）
- 場 所 自治医科大学附属病院
- 内 容 外来中心 診察申込書記入の代筆、院内の案内、
車椅子の患者様の介助など



お問い合わせ先

自治医科大附属病院 経営管理課 総務係

TEL 0285-58-7103 (直通)

とちぎ子ども医療センター

- 活動日 月～金（祝日除く）9：00～17：00
- 場 所 子ども医療センター
- 内 容 外来（案内・見守りなど）
病棟（保育・学習・読み聞かせなど）
作業（手芸・園芸・装飾など）



花咲jii

- 活動日 毎月第3又は第4日曜日（午前中）
- 場 所 子ども医療センター 外庭
- 目 的 美しい花、香りのある木、実のなる樹木
を植え、季節感を与え、病気と闘う子ども
たちや家族を元気づける
- 内 容 花木の植栽、除草、花床の整備など



お問い合わせ先

とちぎ子ども医療センター ボランティア室

TEL 0285-58-7815 (直通・鈴木)

ご面会について

※ご面会の時間は次のとおりです※

本館・新館 ●平日 13:00～20:00
●土・日・祝日 13:00～20:00
(ただし、産科病棟は、毎日 15:00～19:00)

・ご面会の方は、必ず本館1階総合案内「面会者受付」で受付し、**バッヂ**を付けていただき各病棟のスタッフステーションで**許可**を受けてから病室にお入りください。

子ども医療センター 15:00～19:00

・ご面会の方は総合案内にて受付をして、**面会カード**を首から提げて病院の入り口でインターホンを押し、お名前とお子様との関係をお話ください。

※ご面会は決められた時間内に短時間をお願いします。

※大勢でのご面会をご遠慮ください。

※お子様は感染防止のため、お連れにならないでください。

面会の際には、
時間を守りま
しょう。

第18号

自治医科大学附属病院だより

〒329-0498
栃木県下野市薬師寺3311番地1
TEL 0285-44-2111(代)
FAX 0285-40-6016
URL <http://www.jichi.ac.jp>

発行日/平成25年8月1日
編集・発行/自治医科大学附属病院
病院事務部 経営管理課
印刷/(株)松井ピ・テ・オ・印刷